

# 1.法人運営事業

## 1.理事会(6回)

- 1.平成19年4月13日(金)・・・福祉会館 第2会議室
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会正副会長の互選について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について
  
- 2.平成19年5月22日(火)・・・福祉会館 第2会議室
  - ・専決処分の報告について
  - ・平成18年度事業報告の認定について
  - ・平成18年度決算の認定について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会事務局の組織等に関する規程の一部を改正する規程について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員選任の同意について
  
- 3.平成19年6月8日(金)・・・福祉会館 第3会議室
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会会長の互選について
  
- 4.平成19年9月21日(金)・・・福祉会館 第2会議室
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会副会長の選任について
  - ・平成19年度一般会計9月補正予算について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会顕彰者の選考について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について
  
- 5.平成19年12月14日(金)・・・福祉会館 第2会議室
  - ・平成19年度一般会計12月補正予算について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について
  
- 6.平成20年3月21日(金)・・・福祉会館 第2会議室
  - ・平成19年度一般会計3月補正予算について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事・評議員選任規程の一部を改正する規程について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について
  - ・平成20年度事業計画案について
  - ・平成20年度一般会計当初予算案について
  - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について

## 2. 正副会長会議（0回）

重要議題が無いため、開催せず

## 3. 監事会（1回）

平成19年5月15日（火）・・・福祉会館 第2会議室

- ・平成18年度事業報告の監査
- ・平成18年度決算書類の監査

## 4. 評議員会（4回）

### 1. 平成19年5月29日（火）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成18年度事業報告の認定について
- ・平成18年度決算の認定について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会事務局の組織等に関する規程の一部を改正する規程について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について

### 2. 平成19年9月28日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成19年度一般会計9月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について

### 3. 平成19年12月21日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成19年度一般会計12月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について

### 4. 平成20年3月28日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成19年度一般会計3月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事・評議員選任規程の一部を改正する規程について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について
- ・平成20年度事業計画案について
- ・平成20年度一般会計当初予算案について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について

## 5. 計画策定・進行及び各種委員会

各種委員会を次のとおり開催した。

### 1. 総合企画委員会（委員 11人）

平成19年8月2日（木） 通算第30回

- ・広報委員会報告
- ・第3次平塚市地域福祉推進計画策定の進め方

## 2. 広報委員会（委員 10人）

- ・第98号「福祉だよりひらつか」の発行について  
開催日 5月25日、6月11日
- ・第99号「福祉だよりひらつか」の発行について  
開催日 8月27日、9月25日
- ・第100号「福祉だよりひらつか」の発行について  
開催日 12月18日、2月 5日

## 3. イベント実行委員会（委員 11人）

開催日 8月2日、10月12日、12月6日

## 4. 仮称第3次平塚市地域福祉推進計画策定委員会（委員 11名）

平成20年3月13日（木）

- ・正副委員長の互選
- ・平塚市地域福祉計画の改定状況について
- ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画の策定について
- ・改定第2次平塚市地域福祉推進計画の達成度について

## 5. 仮称第3次平塚市地域福祉推進計画策定作業委員会（委員 13名）

平成20年2月29日（金）

- ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画の策定について
- ・改定第2次平塚市地域福祉推進計画と平塚市社協事業の検証（事業運営評価）について

## 6. 研修事業

### 1. 視察受入れ

（1）健康福祉部新任職員施設見学 30人

### 2. 実習受入れ

（1）社会福祉援助技術現場実習

- |       |          |                |          |
|-------|----------|----------------|----------|
| ・日本大学 | 1人（12日間） | ・Y M C A福祉専門学校 | 1人（12日間） |
| ・東海大学 | 1人（12日間） | ・神奈川福祉専門学校     | 2人（10日間） |

（2）福祉事務所実習

- |        |         |           |         |
|--------|---------|-----------|---------|
| ・東海大学  | 3人（1日間） | ・田園調布学園大学 | 1人（1日間） |
| ・早稲田大学 | 1人（1日間） | ・明治学院大学   | 1人（1日間） |

（3）その他（社会体験研修）

- ・大磯小学校教員 1人（3日間）

### 3. 市社協職員対象自主研修

（1）ストレスケア講座 129人（3日間）

（2）普通救命（AED）講習 32人（2日間）

（3）メタボリックシンドロームと心疾患の予防啓発講習会 54人（1日間）

## 7. 後援・協賛事業

### 1. 次の事業に、後援・協賛した。 39件

1	ユースボランティア2007	21	平塚市浅間祭
2	ホスピス講演会	22	第36回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会
3	第28回ともしびポスター・第21回ともしび絵本コンテスト	23	平塚・大磯・二宮地区里親講座
4	第12回舞踏愛好会チャリティ大会	24	フォト四季 写真展
5	友情列車「湘南ひまわり号」	25	成年後見基礎講座
6	第15回夏休み子どものつどい	26	第11回ドリーム・カップ
7	第20回神奈川里親大会	27	第31回ゆめクラブ湘南平塚のつどい
8	ゆめかながわスポーツ健康シニアフェスタ2007	28	第37回ゆめクラブ湘南平塚趣味の作品展
9	24時間テレビ平塚地区第21回街頭募金	29	第6回「どう生きる100歳時代」
10	第10回神奈川県電動車椅子サッカー大会	30	大門三郎 第20回新春チャリティコンサート
11	尾上流日本舞踊菊右英会	31	福祉芸能の集い第16回チャリティ公演
12	第43回ゆめクラブ湘南平塚福祉大会	32	いのちのトークと心の唄～共に生きるフォーラム～
13	2007ベストヘアコンテスト ユーナフェスティバル	33	「湘南ひらつかマジシャンズ」発表会
14	湘南平塚福祉芸能の祭典チャリティ公演	34	クーベ & Shihoライブコンサート
15	ユニセフ写真展 ラオスの子どもとユニセフの支援	35	K・J・D・Sチャリティダンスコンサート Vol.24
16	湘南フラ・チャリティinひらつか	36	第23回平塚愛唱会
17	第56回神奈川県社会福祉大会	37	YES, 愛, DO! 音楽祭
18	神奈川県自閉症児・者親の会連合会巡回作品展	38	ミュゼ主催第10回チャリティコンサート
19	第12回福祉芸能チャリティ公演	39	神奈川県自閉症児・者親の会連合会 総会記念講演会
20	高齢者円滑入居支援事業 貸主・不動産向け研修会		

## 8. 事故発生報告 合計 35件

### 1. 提供サービスにおけるもの 32件

子育て支援センター関係	2件
・利用者子どもの怪我等	2件
老人福祉センター関係	8件
・風呂場での現金紛失	1件
・利用者のCD紛失	1件
・会議室利用者体調不良による救急車要請	1件
・機械警備の誤作動	3件
・南部福祉会館ステンレス製グレーチング盗難	1件
・白寿荘ボイラー故障	1件
栗原ホーム関係(地域包括支援センター含)	22件(うち救急車要請3件)
・地域包括支援センターゆりのきで連絡を受け119番通報	1件
・他事業所にショート中の事故等	2件
・訪問先で利用者が亡くなっていた等	3件
・訪問先で利用者の怪我等	2件
・訪問先での器物破損等	9件
・通所介護活動中の車両内事故	2件
・通所介護活動中利用者の怪我等	2件

・機械警備の誤作動 1件

2. 業務にかかわるもの 3件

- ・通所介護活動中の車両破損 1件
- ・訪問調査中の車両破損 1件
- ・訪問活動帰宅中乗用車と接触事故 1件

9. 情報公開 申請件数 1件 公開件数 1件

平成18年度介護保険事業者（平塚栗原ホーム）事故報告書個人情報を除き一部公開した。

10. 苦情処理 合計 17件

- 地域福祉活動支援グループ関係 1件
  - ・地区社協実施の配食について 1件
- 施設管理グループ関係 8件
  - ・利用者に対する職員の対応等について 3件
  - ・マッサージ機の利用について 1件
  - ・マイクロバス送迎によるトラブルについて 1件
  - ・南部福社会館の利用時間等について 3件
- 栗原ホームグループ関係 8件
  - ・配食サービスについて 1件
  - ・通所介護サービスのリフト浴故障について 1件
  - ・通所介護サービス利用者から職員の対応について 1件
  - ・ケアマネジャーの対応の不満 2件
  - ・訪問介護の利用者からヘルパーの対応について 2件
  - ・包括支援センター職員の対応について 1件

## 2. 広報啓発事業

### 1. 福祉だよりひらつか発行

市民に社協事業を始め地区社協、ボランティア、福祉施設、福祉団体等の活動状況を紹介して地域福祉及びボランティア活動の推進、育成等を図る広報紙を年3回発行した。

	発行日	発行部数
第98号	7月1日	85,500部
第99号	11月1日	85,500部
第100号	3月1日	85,500部

### 2. 啓発宣伝事業

#### 1. 福祉イベントの開催

平塚市社会福祉協議会がめざす『誰でも可能な限り、住み慣れた地域で、家庭生活が安

心して営めるようにする』基本理念をメインテーマとして、「社会福祉法」で明確化された『地域における社会福祉の推進を図る』ことを目的に開催する。具体的には、総合公園にて「福祉フェスティバル」を実施した。また、福祉会館及び中央公民館にて「福祉まつり」を開催し、福祉に対する理解と、参加意識の高揚を図り、さらに、多くの市民に社会福祉協議会の事業や役割を広く周知することを目的に実施した。

(1) 福祉フェスティバル(ともしび運動推進事業) 1,217,293円

市民一人ひとりに福祉の心が根づき「ともに生きる」福祉のまちづくりが広がるように市主催の健康フェスティバルと同時開催した。

共催 第31回心身障がい児者レクリエーション大会

開催日 10月28日(日)

会場 平塚市総合公園内平塚のはらっぱ

参加者 約13,000人

内容

- ・ミニ運動会(パン食い競走、動物競走、視覚障がい体験ウォーク、たまいれ、ごみ分別競走、車いす体験ウォーク)
- ・手作りゾーン(老人クラブ連合会による竹細工・わら細工、折り紙細工等、地域作業所連絡会他によるロウソク作り等、地域作業所自主製品販売)
- ・ふれあいゾーン(子育て情報コーナー、母子福祉なでしこ会による母(父)と子の交流コーナー、東京電力レク・展示コーナー)
- ・ふくし学べるゾーン(ともしびコーナー、介護情報コーナー、ボランティア福祉体験コーナー、地域福祉コーナー、補助犬ふれあいコーナー)
- ・とくとくゾーン(福祉バザーの実施)
- ・ウェルカムゾーン(抽選会)
- ・特別参加企画(補助犬デモンストレーション)

(2) 福祉まつり 1,424,711円

福祉情報の提供・啓発、ノーマライゼーションの普及、福祉施設の紹介・地域作業所自主事業製品の販路拡大、世代や親子・障がいの有無にもかかわらない交流、生きがいの場の提供、社協の活動事業や役割紹介などを目的に福祉まつりを実施した。

開催日 11月21日(水)～23日(金)

会場 福祉会館、中央公民館(ギャラリー、小ホール)

参加者 4,804人(うち、社会福祉を考えるつどい133人)

内容

- ・社会福祉展部門 市内社会福祉施設の紹介、作品の展示を行った。展示用パネルについては、地域の福祉まつりや公民館まつりなどに貸出した。

出展施設：高齢施設 9 ・ケアセンター 9

障がい施設 16 ・保育園 29

合計 63施設

作品出店数：高齢施設 172 ・ケアセンター 152

障がい施設 300 ・保育園 58

合計 682作品

来場者数：延べ346人(うち21福祉施設)

- ・福祉会館まつり部門 福祉会館において活動しているサークル等の作品展示、催物、カラオケ大会、お茶会など成果の発表及び市内地域作業所の自主製品の即売、模擬店、体験コーナー等を実施

424,181円

した。

展示関係	福祉会館	延べ出展人員	441人
		延べ出展数	924点
催物関係	福祉会館	演芸出演人員	227人
		カラオケ大会参加者人員	65人
		体験コーナー参加者延べ人数	18人

・ 社会福祉を  
考えるつどい部門  
491,003円

永年にわたる社会福祉への功績を称えるため、平塚市・平塚市社会福祉協議会の共催により社会福祉関係功労者の表彰式と社会福祉の啓発を目的に講演会を23日(祝/金)に実施した。

第1部 表彰式典

第2部 講演会

講演者 熊谷豊壽

題名 『ボランティア活動の現状とこれから』

・ あそびの森  
249,840円

地域のボランティアとともに、すべての人々が、世代を超えて交流するイベントとし、おしゃべりや情報交換の場として「出会い・ふれあい・学びあい」をテーマに企画・実施した。

11月21日

3Fおもちゃのひろば

- ・おもちゃで遊ぼうコーナー
- ・手作りおもちゃコーナー
- ・出前！マジックショー

4Fわくわくひろば

- ・リトミック

11月22日

3Fおもちゃのひろば

- ・おもちゃで遊ぼうコーナー
- ・手作りおもちゃコーナー
- ・出前！マジックショー

4Fわくわくひろば

- ・人形劇

会場 平塚市中央公民館(和室、会議室、小ホール)

参加者 : 合計865人 保育: 8人

(内訳)

3Fおもちゃのひろば

552人: 親子136組 団体4

4Fわくわくひろば

313人

## 2. ともしび運動推進事業

(1) 障がい者の日キャンペーン 98,731円

障がい者に対する理解ならびにともしび運動啓発のため、平塚市障がい者団体連合会と協力し、街頭キャンペーンと啓発イベントを行った。

\* 街頭キャンペーン

実施日 12月9日(日)  
場 所 平塚駅周辺 MNビル北側 四季の広場  
参加者 77人(うち事務局6人)  
(当事者団体、障がい福祉施設、地域作業所連絡会、民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡会、市、市社協)

\*啓発イベント

場 所 平塚市福祉会館 3階 大研修室  
参加者 150名  
内 容 自閉症啓発活動劇「れいんまん広め隊」  
平塚地区自閉症児・者親の会(平塚やまびこ会)

(2) 障がい者IT関連事業(障がい者IT利活用地域体験・相談会)

パソコン操作の初歩的な体験や支援者との交流を通じ、その利便性の実感と自己表現の可能性を探る機会として、障がい者の社会参加を側面支援することを目的に、神奈川県社会福祉協議会の主催で実施した。

実施日 平成20年3月15日(土)  
場 所 平塚市福祉会館 2階 第1会議室  
参加者 15名(知的障がい者9名含む)  
内 容 インターネット体験、名刺づくり

(3) 「ふたごみつご達のひろば」

「ふたごみつご達のひろば」については、P14に掲載

3. ホームページひらつか社協どっとねっとの運営

<http://www.hiratsukasyakyo.jp/>

3. 顕彰(敬称略)

1. 社会福祉を考えるつどい2007(11月23日:中央公民館小ホール)の席上、次の方々が顕彰された。

(1) 平塚市長表彰(3人)

自立更生者

・石井 泰生 ・石崎 武

更生援護功労者

・市川 恵子

(2) 平塚市社会福祉協議会会長表彰(10人)

地区社会福祉協議会

・早川美代子 ・赤塚リサ子 ・柳瀬イツ子

・根岸英美子 ・岩崎 恵子

民生委員・児童委員

・横山 洋子 ・山崎 博司 ・村上 幸子

保護司

・伊藤 公明

福祉団体

・川口 由忠

( 3 ) 平塚市社会福祉協議会会長感謝 ( 4 2 人 )

地区社会福祉協議会

- ・生田 芙美代
- ・伊東 紀子
- ・岡崎喜久子
- ・小出 茂
- ・杉山八重子
- ・鈴木 幸子
- ・鈴木 茂
- ・鈴木テル子
- ・高部 寛
- ・武井 勝三
- ・田畑 明美
- ・長島 節子
- ・持田 修
- ・椎野 文子
- ・酒井 園枝
- ・和田 規子
- ・大村三枝子
- ・浦山芙美子
- ・池谷喜久枝
- ・石川 敬子
- ・添田 進
- ・石井 登
- ・高橋美知子
- ・田中 実子
- ・串淵 治子
- ・小島眞由美
- ・榊満 悦代
- ・高橋 初枝
- ・坂口 律子

ボランティア、福祉団体

- ・高梨 一
- ・古屋 鐵也
- ・南場 尚子
- ・相原 立子
- ・石川 悦子
- ・小林 千里
- ・鳴海 時子
- ・川口 准子
- ・渡部 周子
- ・内田美佐子
- ・相原 敏子
- ・大貫千恵子
- ・安江 知子

2 . 第 5 6 回神奈川県社会福祉大会 ( 1 0 月 1 8 日 : 県立音楽堂 ) の席上、次の方々が顕彰された。

( 1 ) 神奈川県社会福祉協議会会長表彰 ( 1 5 人 )

民生委員・児童委員

- ・横山 洋子
- ・山崎 博司
- ・村上 幸子

社会福祉施設従事者

- ・小笠原昌美
- ・加藤雄一郎
- ・小宮 秀子
- ・諏訪部依子
- ・足立 治男
- ・斎藤美喜子
- ・青木聖一郎
- ・吉川咲百合
- ・吉野三枝子
- ・鈴木 友里
- ・安藤 綾英
- ・羽太 鎮雄

( 2 ) 神奈川県社会福祉協議会会長感謝 ( 6 人 )

永年勤続功労者

民生委員・児童委員 ( 2 0 年以上 )

- ・日下部洋子
- ・桜井 利彦
- ・松島 受佳子

福祉施設従事者 ( 2 5 年以上 )

- ・勝田 俊一
- ・瀬戸 利彦
- ・朽見 慎吾

( 3 ) 神奈川県知事表彰 ( 1 人 )

社会福祉関係者等表彰

- ・国峰 千佳子

( 4 ) 共同募金運動功労者表彰及び感謝 ( 3 人 )

神奈川県知事表彰

- ・越光 正寿

神奈川県共同募金会会長感謝

- ・井上 稔
- ・柳川 三郎

### 3. 地域福祉推進事業

#### 1. 会員と賛助会員

##### 1. 会員と会費

会員区分		会員数	金額(円)
1号会員	地区社会福祉協議会	23	155,400
2号会員	自治会連絡協議会	1	5,000
3号会員	地区民生委員児童委員協議会	23	78,200
4号会員	保護司会	1	11,800
5号会員	社会福祉施設	129	361,000
	(法人)	(27)	(81,000)
	(施設)	(76)	(228,000)
	(地域作業所)	(26)	(52,000)
6号会員	当事者団体	15	45,000
7号会員	社会福祉活動団体	15	45,000
8号会員	社会福祉協力団体	2	6,000
9号会員	社会福祉に関する学識経験者	2	-
10号会員	社会福祉に関係ある行政機関	3	-
合 計		214 件	707,400

##### 2. 賛助会員と賛助会費

2.3 地区(300円未満の協力会員を含む)

賛助会員会費	63,186件	20,496,528円
(うち、特別賛助会員会費(1口5,000円)	78件	462,200円)
地区還元額(75%)		15,372,401円

##### 3. 企業賛助会員と会費

企業賛助会員会費(市内の企業、事業所等の会員)

1口	5,000円	99社	570,000円
----	--------	-----	----------

#### 2. 地区社協会長(地区社協部会)役員会及び連絡会議(3回)

##### 1. 役員会

(1) 平成19年6月19日(火)

- ・監査について(監事会も兼ねる)
- ・平成18年度地区社協部会事業報告・決算及び平成19年度事業計画・予算について
- ・地区社協会長変更に伴う役員等の交代について
- ・第1回地区社協会長連絡会の開催について

(2) 平成19年11月30日(金)

- ・各種イベントの報告
- ・第2回地区社協会長連絡会の開催について

(3) 平成20年3月26日(水)

- ・平成20年度地区社協関係予算について

- ・平成20年度第2回地区社協研修会について
- ・地区社協概要について（改訂版の発行に向けて）
- ・第3回地区社協会長連絡会の開催について

## 2. 連絡会議

### (1) 平成19年6月29日(金)

- ・平成18年度地区社協部会活動について  
事業報告について  
決算報告について
- ・地区社協役員・市社協各種委員等の選出について
- ・平成19年度地区社協部会活動について  
事業計画(案)について  
予算(案)について

### (2) 平成19年12月7日(金)

- ・各種イベントの報告
- ・第1回地区社協研修会の報告
- ・赤い羽根募金の報告
- ・年末たすけあい募金の途中経過報告
- ・AED及び救急法の講習会
- ・その他  
第2回地区社協研修会について  
地区社協会則一覧表作成について  
地区社協視察についてお願い  
地区社協会長情報交換会

### (3) 平成20年3月31日(月)

- ・平成20年度 地区社協補助金について
- ・平成20年度 地区社協概要の発行について
- ・地区社協補助金交付報告書及び申請書の提出について
- ・第2回地区社協研修会報告について
- ・平塚市からのお知らせ 高齢福祉課

## 3. 地区社協活動支援事業

### 1. 地区社協活動支援補助事業

12,720,394円

地域の福祉活動を推進するため、運営費、事業費を地区社協に助成した。

#### (1) 社会福祉基金事業

6,521,494円

- ・地区社協活動推進事業(23地区) 2,332,788円
- ・高齢者等サロン開催費 3,555,723円
- ・高齢者等サロン開催事業費(相談事業含む) 632,983円

#### (2) 共同募金配分事業他

6,198,900円

- ・地区社協活動事業費(23地区) 2,499,900円
- ・協力者育成事業費(23地区) 1,629,000円
- ・地区ふれあい広場助成(23地区)(年末募金配分事業) 2,070,000円

## 2. 地区社協活動支援事業

地域の福祉活動を推進するため、各地区社協の役員、スタッフそれぞれの役割や業務にターゲットを絞り、より実践的な研修会を開催した。

### (1) 第1回目

開催日 8月6日(月)・8日(水)・10日(金)  
参加者 3日間 延べ188人  
内容 先駆的な地区の事業紹介及び講義「地域福祉の光と影」  
会計業務の心得及び適正な会計処理について  
子育て支援について

### (2) 第2回目

開催日 3月3日(月)・5日(水)・13日(木)  
参加者 3日間 延べ158人  
内容 先駆的な地区の事業紹介  
適正な事業計画・予算書及び、事業報告・決算書の記入方法について  
悪徳商法について(寸劇・講義)

## 4. 部会活動推進事業

社会福祉協議会の事業推進と連携強化を目的として、部会に運営費等を助成して円滑化を図った。

5部会	合計	400,000円
・地区社協部会		40,000円
・自治会部会		18,000円
・民生委員部会		54,000円
・保護司部会		27,000円
・福祉施設部会		261,000円
(内訳 部会運営費 81,000円 施設職員研修費補助 180,000円)		

## 5. 団体育成事業

1. 平塚市民生委員児童委員協議会 2,723,000円  
住民の福祉に欠かせない民生委員児童委員活動を助長する目的で助成を行った。
  - ・実態把握活動費(年末募金配分事業) 1,550,000円
  - ・点検活動費・民協活動費 1,173,000円
2. 平塚市自治会連絡協議会(年末募金配分事業)  
共同募金活動の他、福祉事業の協力費として運営費を助成した。 350,000円
3. その他福祉関係団体へ活動費の助成を行った。(年末募金配分事業)
  - 高齢者福祉 老人クラブ連合会事業費補助 90,000円
  - 母子福祉 母子福祉なでしこ会事業費補助 45,000円
  - 心身障がい児者福祉 身障団体等事業費補助 13団体  
(1団体あたり36,000円) 468,000円

## 6. 地域作業所補助事業

1. 地域作業所育成（社会福祉基金事業）	1,500,000円
・自動車購入費助成 須賀作業所	800,000円
・施設修繕改修費助成 作業所サチラス	700,000円
2. 地域作業所等事業運営助成（年末募金配分事業）	4,320,000円
・地域作業所の事業運営に対して配分 （1か所あたり 140,000円） 26 作業所	3,640,000円
・グループホーム、ケアホームの事業運営等に配分 （1か所あたり 90,000円） 7 か所	630,000円
・障がい児デイサービス事業運営に配分 （1か所あたり 50,000円） 1 か所	50,000円

## 7. 子育て支援育成事業

1. 平塚市内で子育て支援を行っているグループ、またこれから行おうとするグループに対し、会の定着に必要な物品購入及び地域との交流を目的に運営費の一部を補助した。

・24 団体（赤い羽根募金配分事業）	970,000円
内 訳	1ヶ月の子どもの参加延べ人数
50人未満（1団体20,000円）	22 団体
年間事業実施回数（21回以上）	6 団体
年間事業実施回数（9～20回）	16 団体
新規設立団体	2 団体

### 2. 子育て団体支援事業

#### (1) 子育て支援団体情報交換会

開催日 平成19年6月20日(水)  
会 場 平塚市勤労会館  
参加者 33人 保育：4名

#### (2) 子育て応援団体サポート講習会（シニア世代等次世代育成支援活動促進事業）

開催日 平成20年2月13日(水) 15日(金) 16日(土)  
会 場 平塚市勤労会館  
講 座 子育て・子育て入門

手作りおもちゃワークショップ 子ども編  
おもちゃから学ぶ現代の子育て・子育て実際  
手作りおもちゃワークショップ 保護者編  
基調講演「地域をつなぐ三世代子育て応援」  
パネルディスカッション  
「地域に活力を生む子育て応援団体の可能性」

パネラー：平塚市児童福祉課 職員  
平塚市社会福祉協議会 職員  
子育て応援団体 代表

参加者 実人員97人 延べ人数252人 保育16人

(3) 子育て応援団体冊子配布、4,000部

(4) 「ふたごみつご達のひろば」

開催日 毎月第4土曜日(都合で第3土曜日3回)年12回

会場 平塚市福祉会館 集会室

参加者 66組 232人(大人87人・子ども145人)

ボランティア 76人 総数 308人

(5) おもちゃ貸出し事業

市内で活動する子育て支援団体に無料で貸し出しを実施する。

貸出件数 15件

## 8. 地域特別事業

地域社会福祉活動をより一層強化、発展をはかるため、地域や団体で実施する特別な社会福祉事業に要した事業費の一部を補助した。

・平塚手話サークル七夕会創立30周年記念の集い

30,000円

## 4. ボランティア活動推進事業

市民の善意の開発と、地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、社会福祉の増進を図った。

### 1. ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営委員会の実施

平成19年6月22日 ボランティアセンターの事業報告及び決算について

平成20年3月26日 ボランティアセンターの事業計画及び予算について

### 2. ボランティアの相談斡旋

・ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の相談・援助及びボランティアニーズ調整を行った。

相談日数 246日

相談時間 8:30~17:00

相談件数 820件

派遣延べ人数 1,006人

・ボランティア登録件数

個人 152人 団体 95グループ 3,236人

合計 3,388人

### 3. 調査・研究事業

ボランティアの実態調査

・福祉教育 ボランティア学習の取組み実態調査(個人)

・福祉教育 ボランティア学習の取組み実態調査(団体、グループ)

・市町村社協ボランティアセンター活動実態調査

・市民活動グループの把握について

・精神保健関連講座等の実施状況

- ・生涯学習ボランティア（人材）バンク並びに青少年ボランティア活動における実態アンケート
- ・市民活動グループ 団体動向調査
- ・ボランティア 市民活動支援機関調査

#### 4. 広報啓発事業

- ・「ボランティア情報」を購入し、ボランティアリーダー・地区社協・地区民協及び、小・中・高校・専門学校へ配布した。 年12回
- ・「夏秋ボランティア活動ガイド」の作成・配布 1,500冊
- ・「冬春ボランティア活動ガイド」の作成・配布 500冊
- ・「ボランティア活動体験 vol.1」の作成・配布 260冊
- ・FM湘南ナバサへ情報提供
- ・ボランティアセンター廊下の掲示板活用
- ・ボランティアセンター内掲示板で報告書情報誌などの閲覧
- ・ビデオライブラリーの整備 保有数99巻（内DVD5巻）
- ・ボランティア活動相談基礎知識（新中学生へ） 57冊配布

#### 5. ボランティア育成及び活動の推進事業

##### 1. 夜間ボランティアスクール

一般市民を対象に、夕方（午後6時30分以降）の時間に社会福祉とボランティア活動の啓発を目的に開催した。

開催日 6月1日（金）～6月19日（火） 全6回

時間 午後6時30分～8時30分

ボランティア活動とは（講話）・車椅子操作法（講話・体験）

手話体験（講話・体験）

点字体験（講話・体験）

視覚障がい者誘導法（講話・体験）

施設見学（倉田会 しんど老人保健施設）

ボランティアシンポジウム・修了式

受講生 19人 参加者 延べ82人

##### 2. 高齢者給食ボランティア研修会

栄養と食品衛生について学び、地区社協での献立を調理実習した。また、先進地区の事例報告をし、地域での今後の事業を検討した。

開催日 8月31日（金） 参加者 25人

講師 平塚市健康福祉部健康課 伊藤管理栄養士

調理指導 岡崎地区社会福祉協議会・岡崎高齢者福祉部会

##### 3. 平日ボランティアスクール

ボランティア活動を始めようとしている人・初心者の人・興味がある人を対象に社会福祉意識の啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的とした講座を開催した。

開催日 9月6日（木）～10月11日（木） 全6回

時 間 午後1時30分～3時30分  
 ボランティア活動とは(講話)・車椅子操作法(講話・体験)  
 手話体験(講話・体験)  
 点字体験(講話・体験)  
 視覚障がい者誘導法(講話・体験)  
 施設見学(つちや社会福祉会 ローズヒル・ローズヒルケアセンター・つちやホーム)  
 ボランティアシンポジウム・修了式  
 受講生 19人 参加者 延べ99人

#### 4. 土曜スクール

学校などの土曜日の休みや勤労者の週休2日を利用して、学生から勤労者等、幅広い層を対象に、体験学習を中心とした講座を開催した。

開催日 2月2日(土)～3月8日(土) 全6回  
 時 間 午前10時～12時  
 ボランティア活動とは(講話)・車椅子操作法(講話・体験)  
 手話体験(講話・体験)  
 施設見学(つちや社会福祉会 ローズヒル・ローズヒルケアセンター・つちやホーム)  
 点字体験(講話・体験)  
 視覚障がい者誘導法(講話・体験)  
 高齢者疑似体験・ボランティアグループ紹介(車椅子レクダンス普及会)・修了式  
 受講生 12人 参加者 延べ60人

#### 5. 精神保健福祉ボランティア講座

精神障がい者に対するの病気や障害について理解と基礎的なことを学ぶ講座を開催した。

開催日 7月21日(土)～12月15日(土) 全6回  
 時 間 午前10時～12時  
 ケースワーカーの立場から(講話)  
 病気について(講話)施設見学(富士見台病院)  
 家族の立場から、当事者の立場から(講話)  
 施設の役割・市精連の活動、グループホームの役割(講話)  
 精神保健制度について(講話)  
 精神保健ボランティアとは(講話)  
 受講生 26人 参加者 延べ126人

#### 6. ボランティアグループ活動助成(社会福祉基金事業)

58グループ 助成額 2,391,000円

#### 7. 平塚ボランティア連絡会へ助成(社会福祉基金事業)

助成額 180,000円

8. 専門ボランティア養成研修会（社会福祉基金事業）  
 点訳、手話、誘導法、要約筆記 助成額 300,000円

9. 実習、研修事業などへ協力  
 学校、企業などにボランティア活動や体験学習の講師として協力した。

10. 平塚おもちゃ図書館  
 障がい児と家族、ボランティアの交流の場として開館した。  
 開館日数 50日  
 利用者 77人

6. ボランティア啓発育成（社会福祉基金事業）  
 小中高等学校福祉活動助成（小学校13・中学校14・高等学校5 計32校）  
 助成額 833,120円

7. 録音・点字図書等の貸出し事業  
 視覚障がい者の教養娯楽に供するため、各種録音テープ点字図書の貸出しをした。

- ・受入数
 

録音図書（デージー）	42タイトル	42巻
点字図書	27タイトル	119冊
- ・保有数
 

録音図書（テープ）	1,792タイトル	17,144巻
（デージー）	42タイトル	42巻
点字図書	220タイトル	882冊
- ・貸出し状況

	区 分	利用人数(延べ)	貸出し巻数
録音 テープ デージー	定期刊行物	776	776 (内訳 広報580、議会196)
	図書(テープ) (デージー)	130 12	1,150 12
	合 計	918	1,938
点字図書	定期刊行物	168	168
	図 書	233	854
	合 計	401	1,022

## 8. 車椅子の貸出し

保有台数	78台
延貸出件数	188件
延貸出日数	4,493日

## 9. 善意の寄託品

	寄託物品	寄託者	件数	配分先
1	図書券1,500円分×18人分	湘南リビング新聞社	18	高校生以下の交通費に配付
2	車椅子(新品3台)	マックスバリュ東海(株) 平塚四之宮店、河内店	1	社協(貸出用)
3	神奈中乗車券10枚綴り	個人	2	ボランティアセンター、 子育て支援活動事業
4	麻雀1セット(牌、板)、 折りたたみ卓一式	健康麻雀サークル会	1	南部福祉会館
5	レーザーディスク274枚	湘南親和会	1	七国荘
6	お米2kg入り80箱	大山阿夫利神社	1	市内生活ホーム
7	記念切手(未使用分)	個人	1	社協事業用
8	囲碁1セット(碁石、碁盤)	個人	1	福祉会館3階
9	ライト付耳かき380個(単三電池付)	個人	1	社協(イベント等)

## 5. 当事者援護事業

### 1. 要保護者援護事業

#### 1. 要援護世帯等の慰問

生計困難世帯、在宅重度の身体・知的・精神障がい児者、原爆被災者の方に市受託金による慰問金を贈った。

	夏 期		年 末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
生計困難世帯	599件	3,909,000円	592件	4,532,000円 (年末募金配分事業)
在宅重度の身体・知的 ・精神障がい児者			2,174件	4,348,000円
原爆被災者	67件	335,000円		
合 計	666件	4,244,000円	2,766件	8,880,000円

#### 2. 小・中学校入学祝金及び入学準備補助(社会福祉基金事業)

生計困難世帯の小・中学校入学児童へ祝金と学生服の購入補助をした。

祝金 被服購入費助成

小学校入学 (10,000円+10,000円)×23人= 460,000円

中学校入学(男)(10,000円+20,000円)×26人= 780,000円

" (女)(10,000円+25,000円)×29人= 1,015,000円

計 78人 2,255,000円

#### 3. 修学旅行支度費(年末募金配分事業)

生計困難世帯の児童で、小学6年生と中学3年生の修学旅行支度費の一部を次のとおり交付した。

5,000円×53人= 265,000円(小学校6年生)

10,000円×66人= 660,000円(中学校3年生)

計 119人 925,000円

## 2. 緊急援護事業

法外援護として、旅費困窮、行旅病人等緊急援護を必要とする者に次のとおり援護した。

・旅費困窮者救護金 (204件×300円)	61,200円
・行旅病人等旅費、食事代 (6件)	4,800円
・休日、年末年始対応(市役所及び市民病院)バス回数券購入	3,000円
・行旅病人等被服の購入	9,840円
合計	78,840円

## 3. 高齢者福祉事業

### 1. 寝たきり高齢者等慰問事業(社会福祉基金事業)

在宅の寝たきり高齢者(要介護度4・5)等、対象者となる方に尿とりパッド贈呈  
年2回 8月 262人 2月 262人 計524人 373,034円

### 2. 福祉電話料助成(社会福祉基金事業)

ひとり暮らし高齢者福祉電話料助成 延べ40人(親機含む) 855,350円

## 4. 障がい児者福祉事業

### 1. 障がい児と保護者の慰安激励(ディズニーランドへバス4台)(赤い羽根募金配分事業)

参加者 51世帯 179人 1,298,418円(参加者負担金448,000円)

### 2. 点字図書購入費助成(社会福祉基金事業)

1・2級視覚障がい者に点字図書購入費の一部を助成 9件 90,000円

## 5. 児童福祉、母子・父子福祉事業世帯健全育成

### 1. 母子・父子世帯健全育成

母子・父子世帯の交流と慰安激励(ディズニーランドへバス2台)(赤い羽根募金配分事業)  
参加者 37世帯 87人 575,630円(参加者負担金274,500円)

### 2. 青少年健全育成(年末募金配分事業)

社会を明るくする運動の推進母体に活動費を助成 180,000円

### 3. 地域交流事業助成(社会福祉基金事業)

公立保育園10園 200,000円

## 6. 災害見舞金支給事業

災害援護活動 40,000円(赤い羽根募金配分事業・たすけあい福祉資金配分金)  
全焼(損) 20,000円×1件 床上浸水 5,000円×4件

## 7. 遺児援護事業

### 1. 交通遺児激励金

区分及び単価		支給時期	件数	支給合計(円)
県社協分	激励金 50,000円	小学校入学	0	0
		中学校入学	0	0
		中学校卒業時	4	200,000
		高校卒業時	2	100,000
	見舞金 100,000円	交通遺児発生時	1	100,000
小計			7	400,000
市社協分(遺児基金事業)	激励金 15,000円	18歳以下の対象者 へ年1回	18	270,000

### 2. 一般遺児激励金(年末募金配分事業)

18歳以下の遺児に激励金 (1人10,000円)を配付	81世帯 児童数123人	1,230,000
--------------------------------	-----------------	-----------

## 8. 在住外国人共生事業

在住外国人生活支援実践活動への支援(年末募金配分事業)

日本語教室、子ども教室、生活相談の3部門構成にて、横内団地集会所における活動の支援を行った。横内プロジェクトへ事業費補助 200,000円

## 6. 貸付事業

### 1. 生活福祉資金貸付

低所得世帯、身体障がい者世帯等の自立更生、生活安定を図るため、申請を受付け次のとおり取扱った。

#### 1. 取扱い内容

種類	件数	貸付金額(円)
修学資金	8	4,725,000
福祉資金	4	2,680,000
療養介護資金	4	1,986,000
災害援護資金	1	1,500,000
合計	17	10,891,000

## 2. 離職者支援資金

平成14年度より、国の施策として、雇用の安定と新産業創出を目指した「総合雇用対策（産業構造改革・雇用対策本部）」により総合雇用対策の中のセーフティネット整備の一つとして、雇用保険制度の枠外にいる自営業者やパート労働者の失業や雇用保険の求職者給付期間の切れたことにより生計の維持が困難になった世帯に対して、生活資金を貸付ける「離職者支援資金」が創設されたが、申請がなかった。

## 3. 長期生活支援資金

平成15年度より、一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金を貸付ける制度として実施している。

件数1件 662,000円（貸付限度額 20,720,000円）

## 2. 一時貸付

低所得世帯で一時的に生活等が困窮な世帯に次のとおり貸付けた。

平成19年度貸付金額 33件 1,370,000円

平成19年度中償還額（昭和58年度～平成19貸付分）延べ143件（内完納29件）

金額 997,000円

平成19年度未償還状況（平成19年度貸付分を含む）

	件数	金額（円）
貸付金額累計	850	32,233,200
償還済額累計	641	25,799,200
欠損処分額累計 （うち19年度欠損処分額）	73 (0)	1,910,000 (0)
貸付残額	136	4,524,000

## 7. 生活支援事業

地域においてさまざまな人々がさまざまな悩みをかかえて生活している。その生活福祉ニーズを解決するために、関係機関や社会資源を有機的に連携させながら、相談活動体制をはかるとともに、地域で発生した生活課題に対しても、地域に即した創意と工夫を行いながら支援を実施した。

### 相談事業

生活支援相談（月曜日～金曜日） 相談件数合計 67件

#### 内 訳

・暮らし住まい 67件

#### 法律相談

弁護士による相談を実施した。

年11回 相談件数40件

## 8. 地域福祉権利擁護事業（ひらつかあんしんセンター）

福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある障がい者や高齢者等の生活を安定させることを目的に事業を実施した。

### 1. 相談援助活動

・問い合わせ、初回相談件数	121件		
高齢者(虚弱、認知症等)	83件		
障がい者	32件		
内 訳			
身体障がい			13件
知的障がい			11件
精神障がい			8件
その他(不明)	6件		
・相談援助活動	3,249件		
(他機関との調整含む)			
高齢者(虚弱、認知症等)	1,380件		
障がい者	1,858件		
内 訳			
身体障がい			133件
知的障がい			810件
精神障がい			915件
その他	11件		

### 2. 契約件数

契約件数 74件（新規契約13件、継続75件、解約14件）

内 訳	福祉サービス利用援助 ・日常的な金銭管理	書類等 預かり	契約人数
高齢者(虚弱、 認知症等)	38	9	47(5)
身体障がい	5	3	8(3)
知的障がい	13	5	18(2)
精神障がい	9	4	13(2)
その他	-	-	-
合計	65	21	86(12)

件数は個人を単位としている。

( )は、福祉サービス利用援助サービス及び日常的な金銭管理サービスを利用している者のうち、書類等預かりサービスも併せて利用している者を示す。

高齢者、障がい者の区分は、契約時のものによる。

### 3. 訪問活動

・専門員等の訪問調査活動	延べ	468回
(生活支援員の定期報告分含む)		
・生活支援員の訪問及び活動	延べ	1,724回
(専門員代行分含む)		

#### 4. 地域福祉権利擁護事業審査会

- ・開催回数 8回
- ・審査内容(単位:件)

対象者		項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	身体 障がい者	その他 ・不明	合計
審査内容	審査(契約・解約 ・支援計画等)		19	6	6	1	0	32
	相談・助言		5	1	1	2	0	9
	その他		13	6	6	2	0	27
審査合計			37	13	13	5	0	68

#### 9. 子育て支援事業

##### 1. 子育て支援センター

地域の子育て家庭に対する育児不安等についての相談対応・情報の提供、子育てサロンの運営及び子育てサークル等への支援、並びに地域の保育ニーズに応じて地域の子育て支援関連機関との連携を図ること等を行い、地域の子育て家庭への支援を図るため、子育て支援センターを設置し、地域全体で子育てを支援する基盤を形成することにより、育児支援を図った。

##### ・実施施設

豊田分庁舎(子育て支援センター)、須賀保育園(センター分室)

##### ・開設日 249日(豊田200日、須賀49日)

##### ・利用状況

利用総数 21,787人(豊田20,689人、須賀1,098人)

来所者 21,190人(豊田20,145人、須賀1,045人)

相談実数 4,344人(豊田3,953人、須賀391人)

相談延件数 4,028件(豊田3,649件、須賀379件)

\* 相談者は来所者と重複する場合がある

相談内容 子どもに関する相談 2,728件

身体 954件 精神情緒 437件 生活 1,337件

親に関する相談 1,300件

子との関係接し方 660件 夫との関係 88件

家族関係 94件 母親の疾患 58件

母親の仕事 51件 社会参加 15件

近隣地域知人 78件 グループ活動 31件

その他 225件

視察等の受入れ 166人(豊田165人、須賀1人)

##### ・活動内容

出向、訪問等での相談 37件

相談以外の補完的援助 535件

- ・関係機関との連携・協力等 65件
- ・グループ支援 17件
- ・会議、研修、視察等の参加 37件
- ・おしゃべり会 5回
- ・スペシャルジョイフルタイム 12回

## 2. ファミリー・サポート・センター

地域において育児の援助を受けたい方と行いたい方を組織化し、相互の援助活動を行うことにより、安心とゆとりをもって子育てができる環境をつくる。平成15年7月1日より活動を開始した。

- ・実施施設 豊田分庁舎
- ・開設日 249日
- ・会員数

	平成19年度	累計
延べ会員数	157人	606人
支援会員	39人	197人
依頼会員	121人	428人
兼ねている会員	3人	19人

### 活動実績

- ・問合せ件数 2,639件
- ・事前、顔合せ件数 334件
- ・活動実績 2,312件(89件) 4,084時間17分(274時間5分)
- ( )は休日対応

### 活動内容

- ・保育所、幼稚園登園前の預かり及び送り 101件
- ・保育所、幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 439件
- ・保育所・学校等休み時の援助 48件
- ・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 55件
- ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 126件
- ・保護者等の外出援助 156件
- ・子どもの習い事等の援助 135件
- ・保護者等の病気、その他急用の場合の援助 590件
- ・その他 662件

### 研修会等

#### 支援会員講習会

第1回	6月13日	26人
	6月18日	27人
	6月19日	27人
第2回	11月9日	22人
	11月12日	22人
	11月13日	20人

支援会員フォローアップ研修会	「絵本の読み語り～子育てに絵本を～」	
12月4日	13人	
会員交流会	「食育に関する関心を高めよう」	
9月20日	福祉会館	9人
会員交流会・実行委員会		
実行委員会	3回	延べ10人
会員交流会	9月20日	福祉会館
	支援会員	5人 依頼会員 4人
会員懇談会>		
6月28日	福祉会館	17人
3月18日	福祉会館	6人

## 10. 施設管理受託事業

### 1. 施設管理事業

1. 平塚市福祉会館、東部福祉会館白寿荘、南部福祉会館、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営について指定管理者制度における指定を受けた。

平塚市福祉会館での総合福祉センターとしての業務と東部福祉会館白寿荘、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの福祉業務など高齢者及び心身障がい者等の福祉の増進と生活向上を図り、南部福祉会館は、老人福祉センターと機能回復訓練用温水プールを備えた施設として、高齢者及び障がい者等の福祉並びに健康保持・増進に寄与するために次の事業を行った。

#### (1) 老人福祉センター等の利用状況（利用延べ人数）

	個人利用		団体利用			合計
	大広間	機能回復 訓練室及 び教養室	団体数	人数	日曜	
福祉会館 老人福祉センター	41,677	25,031	232	7,871	414	75,225
白寿荘 老人福祉センター	15,928	2,180	210	5,964	-	24,282
南部福祉会館 老人福祉センター	37,032	-	107	2,173	-	39,312
老人憩いの家 七国荘	262	-	118	3,745	-	4,125
合計	94,899	27,211	667	19,753	414	142,944

#### (2) 福祉会館会議室等の利用状況

高齢者・障がい者・福祉団体を対象に趣味・教養の向上のためのサークル活動や会議の場として会議室等を提供した。また、市民の福祉向上を図るため母子・家庭児童・生活支援、各種相談の場を提供した。

会議室等の利用状況（延べ人数）

第一会議室	8,279	身障判定室	344
第二会議室	12,652	料理講習室	1,155
第三会議室	7,264	家庭児童（A）相談室	7,559
第四会議室	1,046	母子（B）相談室	1,637
集会室	2,398	生活支援（C）相談室	67
奉仕活動室	2,867	ボランティアセンター	820
身障いこい室	2,150		
合 計			48,238

- （３）障がい者福祉の向上及びボランティア活動の支援  
各種奉仕活動の拠点として活動の場を提供した。

福祉会館奉仕室等の利用状況（延べ人数）

点訳奉仕室	1,749	録音奉仕室	822
図書室	527	ボランティアセンター活動室	196
合 計			3,294

- （４）南部福祉会館会議室等の利用状況（延べ人数）

- ・会議室 171団体 3,606人
- ・ボランティア活動室 319団体 4,989人
- ・教養娯楽室 4,121人(老人福祉センター利用者と重複する)

- （５）南部福祉会館機能回復訓練用温水プールの利用状況

- ・登録累計（個人） 3,221人（団体） 13団体
- ・利 用 高齢福祉課事業 2回 26日 276人
- 健康づくり教室 3回 24日 461人
- シルバー教室 6回 48日 1,026人
- 個 人 23,321人
- 団 体 9団体 756人 合計 25,840人

- （６）健康相談（老人福祉センター利用時に血圧測定等を実施）

- ・福祉会館 2,550人
- ・南部福祉会館 2,184人
- ・東部福祉会館白寿荘 3,290人

- （７）在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営

平塚市から指定管理者制度の指定を受け、管理運営等の事業を実施した。

貸館について

- ・大会議室 46回 利用人員 1,901人
- ・小会議室 80回 利用人数 1,855人

（主な利用団体 平塚市生きがい事業団、平塚ろう学校等）

2. 高齢者・障がい者の保健・教養・レクリエーション事業

高齢者及び障がい者の生きがいを高め、健康で明るい生活を目指して高齢者趣味の講座・高齢者保健講座・身障者趣味の講座を開催し、11月に「福祉まつり」を行いその成果を発表した。

(1) 講座開催状況

高齢者趣味の講座

講座名	定員	回数	受講者数	延べ受講人数
初心者の為のパソコン教室	20	20	20	190
太極拳(七国荘)	25	10	19	129
高齢者の為のソフトエアロビ(白寿荘)	20	8	26	158
合計	65	38	65	477

身体障がい者趣味の講座

詩吟(2回)(視覚)	20	14	5	31
ヨガ教室(聴覚)	10	8	8	44
合計	30	22	13	75

南部福祉会館趣味の講座

千年の恋「源氏物語」を初歩から学ぶ	40	10	39	333
「優しいヨガ」で心と身体をリフレッシュ	25	8	26	152
日本の伝統文化「書道」に親しむ	32	8	15	95
合計	97	26	80	580

総合計	192	86	158	1,132
-----	-----	----	-----	-------

(2) 福祉まつり(2. 広報啓発事業に掲載)

開催日 11月21日(水)~23日(金)

会場 福祉会館

(3) 視察・見学の受け入れ 合計 123人

福祉会館

・団体 2団体 40人

(看護学校)

南部福祉会館

・団体 3団体 12人

(市内外の社協・民児協・ボランティア団体・自治体・学校等)

・個人 71人

2. 福祉電話の連絡業務

福祉電話の基地として、ひとり暮らしの高齢者のために1日1回電話で連絡を行い、安否の確認をした。

対象者 34人 延べ5,738回 月平均 478回

3. 利用者懇談会の実施

会館利用について、利用者団体の方より意見をきき改善策を講じた。

参加者：代表者6人

開催日：10月4日(木)、3月25日(火)

4. 利用者の声

利用者の方々から意見や感想をきくために、各館にアンケート用紙を設置し回収箱に投函していただいた。 合計5件

福祉会館に関すること	
・老人福祉センターの衛生面に関すること	1件
・カラオケサークルに関すること	1件
・カラオケの利用に関すること	1件
・カラオケの機材に関すること	1件
七国荘に関すること	
・ゲートボール場の設置について	1件

## 1.1. 在宅福祉サービス事業

### 1. 介護保険事業

介護保険による次の事業を実施した。

#### 1. 居宅介護支援事業

要介護高齢者（介護保険対象者）の居宅介護支援計画を実施した。

##### ・相談、調査件数

電話相談	4,026件	来所相談	40件
ケアプラン作成訪問	1,058件	申請代行訪問	72件
その他訪問	339件	サービス担当者会議	233件

##### ・ケアプラン作成件数

内 訳	要介護1	291件	要介護2	538件
	要介護3	240件	要介護4	200件
	要介護5	100件		

年間 延べ 1,369件

平塚市地域包括支援センターより受託し介護予防支援計画を作成した。

##### ・予防計画作成件数

内 訳	要介護1	10件	要支援2	23件
-----	------	-----	------	-----

年間 延べ 33件

#### 2. 訪問介護事業

要介護高齢者（介護保険対象者及び予防介護対象者）の居宅介護支援計画に基づいて訪問介護（ホームヘルパーの派遣）事業を実施した。

##### ・相談、調査件数

電話相談	511件	訪問調査	586件
------	------	------	------

##### ・利用者数

内 訳	要支援1	22人	要支援2	19人
	要介護1	13人	要介護2	18人
	要介護3	8人	要介護4	6人
	要介護5	5人		

##### ・派遣回数

内 訳	身体介護	1,265回	生活援助	2,242回
	介護予防	2,257回	身体生活	2,768回

##### ・派遣時間

内 訳	身体介護	1,167.5時間	生活援助	2,970.5時間
	身体生活	4,422時間	介護予防	2,687.5時間

##### ・訪問介護同行研修の受入れ

研 修	（受入日数 延べ 47日 受入人数 延べ 115人）
-----	----------------------------

総合健康推進財団	延べ	9人
平塚ろう学校	延べ	96人
県立小田原高等職業技術校	延べ	4人
神奈川社会福祉専門学校	延べ	6人

### 3. 通所介護事業

要介護高齢者（介護保険対象者）の居宅介護支援計画に基づいて通所介護（デイサービス）事業を実施した。

#### (1) 利用実績

・利用者数	85人	(通所介護	66人	介護予防通所介護	19人)
内訳	要支援1	6人	要支援2	13人	
	要介護1	14人	要介護2	21人	
	要介護3	16人	要介護4	10人	
	要介護5	5人			

・利用回数 延べ4,867回（内訳 通所介護3,846回 介護予防通所介護1,021回）

#### (2) 年間行事

毎月の誕生会と季節にあった行事を実施した。

月	内 容	月	内 容
毎月	誕生会	10月	運動会
5月	花まつり	11月	南原保育園との交流会、家族会
6月	七夕作品づくり、南原保育園との交流会	12月	クリスマス会
7月	七夕カラオケ大会	1月	どんど焼き
8月	夏まつり	2月	豆まき、南原保育園との交流会
9月	敬老週間	3月	ひなまつり、お茶会

#### (3) 研修及びボランティアの受入れ

・研 修（職場体験及び実習）

（受入日数 延べ 22日 受入人数 延べ 56人）

中学校（江陽、春日野、大住、中原）

高等学校（高浜、大原）

専門学校（神奈川社会福祉専門学校、Y M C A福祉専門学校）

大学（日本大学、東海大学）

平塚ろう学校

子供教育センター

・ボランティアの受入れ（日数 延べ 153日 人数 延べ 337人）

一般の方

崇善地区社協

立野町老人会

演芸等（アコーディオン、フラダンス、ハーモニカ、大正琴、手品、キーボード演奏等）

・その他（受入日数 延べ 28日 受入人数 延べ 117人）

盲学校（あんま実習）15日間 延べ 51人

相談員 12日間 延べ 24人

崇善小学校 1日間 延べ 42人

## 2. 障がい者自立支援居宅介護事業

障がい者自立支援制度による次の事業を実施した。

・電話相談 579件                      ・訪問調査 163件

### 1. 居宅介護事業

身体、知的、精神障がい者(介護給付対象者)に対して居宅介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

・利用者数 46人(身障20人・重度身障2人・知的5人・障がい児1人・精神18人)  
・派遣回数 3,342回  
    (内訳 身体介護 247回                      家事援助 3,095回)  
・派遣時間 4719.5時間  
    (内訳 身体介護 249.5時間                      家事援助 4,470時間)

### 2. 重度訪問介護事業

重度身体障がい者(介護給付対象者)に対して重度訪問介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

・利用者数 2人  
・派遣回数 (身体介護) 1,080回  
・派遣時間 (身体介護) 1,693時間

### 3. 平塚市地域生活支援事業の移動支援

身体、知的、精神障がい者(介護給付対象者)に対して居宅介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

・利用者数 14人(内訳 身障5人・知的5人・精神4人)  
・移動支援派遣回数 317回  
・派遣時間 427.5時間

## 3. 配食サービス事業

### 1. 平塚市ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業

家庭において炊事の支度をするのが困難なひとり暮らしのお年寄り等を対象に、夕食を各家庭まで配食するとともに安否の確認を実施した。

・配食数 延べ 5,876食  
・登録者数 35人(男12人・女23人)

### 4. ホームヘルプサービス事業

平塚市在宅高齢者生活管理指導員派遣事業

介護保険において非該当(自立)と判定された方で日常生活を営むのに支障があり、生活支援が必要な高齢者に対して生活支援のホームヘルパーが伺い家事の援助を行った。また、活動に必要な、相談研修、連絡調整、及び事務手続等を行った。

・相談、調査件数  
    電話相談 25件                      来所相談 1件                      訪問調査 1件

ヘルパーの派遣に関する相談、訪問調査及び、他機関への連携、介護、健康についての相談援助を行った。

・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
生活管理 指導	6人	1人	5人	175日	175時間

2. 平塚市育児支援家庭訪問事業ヘルパー派遣業務

子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を実施することにより、当該家庭において安定した子どもの養育が可能となること等を目的に家事の援助を行った。

・利用状況

利用者数 1人 利用回数 延べ 6日 利用時間 延べ 12時間

5. 自主事業

市社協独自で行なうホームヘルパー事業を実施した。

・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
自主	6	0	6	84	154

・ホームヘルパー(3月31日現在) 26人

・研修会の開催

全体研修 4回 延べ 124人

・予防検査の実施

ホームヘルパー全員に対して、0-157の検便を12回延べ400人に実施した。

6. 家庭介護教室

「知って安心!介護の心構え」を実施した。

・平成19年10月4日(木)

「知っておくと得する介護保険と福祉の動向」 35人

「笑い与健康・その効果 生活に笑いをとり入れよう」 30人

・平成19年10月5日(金)

「高齢者の心と体 介護者の心構え」 34人

「介護する側の心のゆとり」 37人

・平成19年10月6日(土)

「お年寄りとのコミュニケーション」 24人

「男の介護教室」 19人

7. 地域包括支援センター事業(ゆりのき)

在宅の高齢者の心身の特性を踏まえて、可能な限り居宅において、自立した日常生活を営めるよう配慮し、高齢者の選択に基づいた自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に提供することを目的

とする。

サービスの提供にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、関係市町村、他の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組みを行う者等との連携に努め、富士見・崇善・松原地区を担当地区として以下の事業を展開した。

#### 地域包括支援センターゆりのきの事業実績

##### ・各種相談の実施

相談者	実人数	412人			
相談方法	来所	21人	電話	239人	
	訪問	29人	その他	123人	
対象者の状況	要支援	125人	要介護	36人	非該当 9人
	特定高齢	112人	その他	130人	

##### ・各種相談内容

相談件数	延べ	831人		
(相談内容内訳)				
介護保険		529件	(要支援者プラン作成依頼 71件を含む)	
高齢者保健福祉サービス	34件	権利擁護関係	9件	
高齢者虐待関係	19件	保健医療	28件	
特定高齢者サービス	112件	その他	100件	

##### ・各種サービスの申請内訳

介護保険関係	224件	高齢者保健福祉サービス	22件
--------	------	-------------	-----

##### ・予防プラン内訳

特定高齢者	24件		
新予防給付(給付管理実績)	延べ 1,896件	(内委託 延べ 226件)	

##### ・認定調査 187件

##### ・居宅介護支援専門員への支援

困難事例を抱える介護支援専門員への対応等	17件
地域内ケアマネジャーとの交流会	1回

##### ・会議開催状況

地域ケア会議	7回	サービス担当者会議	267回
--------	----	-----------	------

##### ・会議出席状況

民生委員定例会	6回	地区社協定例会	3回
地域活動団体	15回	地域包括支援センター連絡会等	42回
運営推進会議(グループホームくすのき主催)	3回		
地域のインフォーマルサービス関係	13回		

## 12. 市受託事業

### 1. 心身障がい者授産事業

心身障がい者の自立更生を図るため簡易な作業による授産生業指導・郊外訓練を行った。

・通所者 9人(3月31日現在) H20年2月 1名退所

・作業日数及び延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
作業日数	20	21	21	21	20	18	21	21	18	18	20	20	239
作業延人数	178	183	186	193	186	158	196	192	165	159	179	156	2,131

・作業内容

サックFRT折り(蛍光管カバーの加工) ・出張作業(会席膳の洗浄)

コンピュータ操作のビニール手袋折り作業 ・自主製品(押し花)の製作

・郊外訓練等

箱根湿生花園・御殿場高原ビール 6月15日

服部牧場・あいかわ公園(宮ヶ瀬ダム) 10月19日

寒川神社・県総合防災センター 1月17日

小田原城址公園・大磯城山公園 3月26日

いちご狩り 2月1日/ 3月 4日

映画鑑賞 5月28日/ 9月 4日/10月25日/ 2月25日

ねん土の花講座 8月29日/ 9月14日

草木染ステンシル講座 10月 3日/10月10日/ 2月13日

・保護者会 2回 7月 2日/ 1月21日

## 2. ひらつか地域介護システム会議の運営

市社協が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として実施した。

### 1. ひらつか地域介護システム会議

・総会	1回	・幹事会	1回
・介護情報推進部会	0回	・サービス適正化推進委員会	0回
・サービス向上検討部会	5回	・監事会	1回

### 2. 事業別連絡会

・居宅介護支援連絡会	6回	・訪問介護連絡会	6回
・訪問入浴連絡会	4回	・訪問看護連絡会	6回
・通所サービス連絡会	6回	・介護保険施設連絡会	6回
・福祉用具・住宅改修連絡会	4回	・グループホーム連絡会	6回

### 3. ひらつか地域介護システム会議主催による研修等

・ 居宅介護支援連絡会	「サービス担当者会議を有意義なものにするには？」	1回
	「ケアマネージメントのプロセスとその基本的な考え方」	1回
	「介護保険における住宅改修のあり方」	1回
・ 訪問介護連絡会	「介護実技研修」	1回(2日間)
	「糖尿病の食品交換表を学ぶ」	1回
	「訪問介護計画書の作成」	1回
・ 訪問入浴連絡会	「分野別情報交換会」	1回
・ 訪問看護連絡会	「うつ病の理解・治療薬・看護のポイント」	1回
	「フットケア」	1回
・ 通所サービス連絡会	「運動と効果」	1回
・ 介護保険施設連絡会	「高次脳機能障がい」	1回
・ 福祉用具・住宅改修連絡会	「介護保険における住宅改修のあり方」	1回
・ グループホーム連絡会	「介護技術」	1回
	「認知症の基礎知識・身体観測・接し方」	1回
	「認知症の理解と介護」	1回

### 4. 医師会との交流会

日時	平成20年2月28日(木)
参加者	100名(内 医師9名)
テーマ	「介護予防給付について」
内容	・ 介護予防給付の制度説明 ・ 介護予防支援サービスの実施状況について ・ 主治医として 介護予防給付について ・ 質疑応答

### 5. ホームページひらつか介護情報ネットワーク(愛称ひらのすけ)の運営

<http://www.hiranosuke.or.jp>

### 3. 家族介護者交流事業

家族介護者リフレッシュ事業を実施した。

・ 平成19年7月26日(木)	アロマセラピー「自分を癒すセルフケア」	26人
・ 平成19年12月12日(水)	「プレイバックシアター(即興劇)で見る“私の介護”」	43人
・ 平成20年3月4日(火)	「トーク&コンサート」～心の歌を歌おう～	55人

## 13. 基金管理事業

### 1. 社会福祉基金の造成

区分	昭和56年度～平成18年度		平成19年度		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市拠出金	8	400,000,000	-	0	8	400,000,000
民間寄託金	7,813	523,694,666	205	16,791,994	8,018	540,486,660
合計	7,821	923,694,666	205	16,791,994	8,026	940,486,660

合計値940,486,660円のうち60,033,310円は事業準備積立金

## 14. 遺児等基金管理事業

### 1. 交通遺児等福祉基金

区分	件数	寄附金額(円)	基金総額(円)
交通遺児へ	14	647,774	55,680,655

### 2. 善意の寄附金

区分	件数	寄附金額(円)
児童福祉へ	13	40,263
高齢者福祉へ	1	50,000
合計	14	90,263

## 15. 共同募金運動

### 1. 神奈川県共同募金会平塚市支会

市社協内に事務局をおき、赤い羽根及び年末たすけあい募金活動を実施した。

#### 1. 常任委員会 委員 16人

開催日 平成19年8月17日(金)

- ・平成18年度平塚市支会会計決算の承認について
- ・平成18年度平塚市支会特別会計決算の承認について
- ・平成19年度平塚市支会会計予算(案)について
- ・平成19年度平塚市支会特別会計予算(案)について
- ・平成19年度共同募金(赤い羽根)運動実施方針(案)について
- ・平成19年度年末たすけあい募金運動実施方針(案)について

#### 2. 支会委員会 委員 49人

開催日 平成19年8月28日(火)

- ・平成18年度平塚市支会会計決算の報告について
- ・平成18年度平塚市支会特別会計決算の報告について
- ・平成19年度平塚市支会会計予算の報告について
- ・平成19年度平塚市支会特別会計予算の報告について

- ・平成19年度共同募金（赤い羽根）運動実施について
- ・平成19年度年末たすけあい募金運動について

### 3. 支会監事会 委員 3人

開催日 平成19年5月15日（火）

- ・平成18年度平塚市支会会計決算について
- ・平成18年度平塚市支会特別会計決算について

### 4. 募金額

募 金 名	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率
赤い羽根募金	21,440,000	22,108,943	103%
年末たすけあい募金	18,360,000	19,354,633	105%
計	39,800,000	41,463,576	104%

### 5. 平成19年度地区別赤い羽根・年末たすけあい募金運動結果表(単位円)

	世帯数	赤い羽根実績額	年末実績額	実績合計
富士見	4,458	1,178,658	1,171,320	2,349,978
崇善	5,669	979,623	979,907	1,959,530
松原	2,134	509,916	520,798	1,030,714
港	4,648	1,115,490	1,105,641	2,221,131
花水	6,140	1,242,154	1,294,129	2,536,283
なでしこ	2,295	612,956	599,095	1,212,051
八幡	2,453	560,137	571,860	1,131,997
真土	2,824	649,905	640,318	1,290,223
四之宮	3,321	815,106	822,793	1,637,899
中原	4,288	1,139,230	1,125,170	2,264,400
南原	1,697	456,220	429,400	885,620
松が丘	2,538	569,575	592,480	1,162,055
豊田	1,662	438,900	409,640	848,540
田村	3,629	909,812	905,261	1,815,073
大神	1,478	432,770	426,450	859,220
横内	3,323	680,805	699,957	1,380,762
城島	1,437	347,400	341,900	689,300
岡崎	2,976	743,600	672,000	1,415,600
金田	3,105	854,310	844,986	1,699,296
土沢	1,768	446,410	422,000	868,410
旭南	6,090	1,455,406	1,488,995	2,944,401
旭北	6,635	1,619,255	1,629,860	3,249,115
金目	4,423	1,259,600	1,245,320	2,504,920
その他		3,091,705	415,353	3,507,058
合計	78,991	22,108,943	19,354,633	41,463,576

## 6. 福祉作文コンクール

応募総数 163篇(内訳 小学生25校88篇 中学生10校75篇)

代表作品の中から次の作品が入選した。

・佳作 「弟の笑顔のために」

平塚市立城島小学校4年 本橋 舞

・佳作 「できる事から」

平塚市立太洋中学校1年 柴尾 美音

## 7. 災害義援金

災害救助法が発令されたため、福祉会館、南部福祉会館、白寿荘、七国荘、平塚栗原ホーム、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターの各窓口に募金箱を設置した。その他、個人や団体からお預かりした義援金を併せ、被災地の共同募金会へ送金いたします。

・能登半島災害義援金 4月1日から5月11日まで

石川県へ 128,801円

・熊本県大雨災害義援金 7月17日から8月3日まで

熊本県へ 20,014円

・宮崎県台風5号被害義援金 8月13日から9月21日まで

宮崎県へ 3,050円

・新潟県中越沖地震義援金 8月6日から9月21日まで(一部10月末まで設置)

市社協の管理施設と平塚市役所、分庁舎、南付属庁舎

新潟県へ 181,920円

・秋田県大雨災害義援金 10月5日から10月26日まで福祉会館のみ

秋田県へ 1,393円

・富山県高波災害義援金 3月10日から4月25日まで福祉会館のみ

(実績は平成20年度報告)

# 参考資料

## 1. 社会福祉基金事業一覧表

平成19年度 平塚市社会福祉基金事業決算

(単位 円)

事業名	事業内容	予算額	決算額	差引	備考
<b>1 地域福祉活動の条件整備及び推進に関する事業</b>		<b>7,802,000</b>	<b>7,354,215</b>	<b>447,785</b>	
(1) 地区社協活動推進事業	地区社協活動の推進を図るための事業に対する助成	6,522,000	6,521,494	506	23地区社協活動費、高齢者等サロン事業、地区ふれあい福祉相談事業
(2) 社会福祉啓発事業	福祉まつり開催経費	450,000	259,687	190,313	
	市立保育園地域交流	200,000	200,000	0	10保育園
(3) ねたきり高齢者慰問事業	本人に尿取りパット(年2回配布)	630,000	373,034	256,966	1回目262人、2回目262人
<b>2 ボランティアの育成及び活動の推進・支援に関する事業</b>		<b>4,107,000</b>	<b>3,983,104</b>	<b>123,896</b>	
(1) ボランティア育成	一般市民ボランティア養成	267,000	229,036	37,964	土曜・平日・夜間・精神保健福祉ボランティアスクール
	専門ボランティア養成	300,000	300,000	0	・点訳講習会11 ・手話講習会8 ・誘導講習会6 ・要約筆記5
	ボランティアリーダー養成	180,000	180,000	0	連絡会助成
(2) ボランティアグループ活動助成	点訳・音訳奉仕団事業助成	100,000	100,000	0	団体助成 @5,000×2
	ボランティアグループ活動費助成	2,310,000	2,291,000	19,000	58グループ助成
	音訳ライブラリー整備事業	50,000	49,948	52	ライブラリー運営経費
(3) ボランティア啓発育成	小中高等学校福祉活動助成	900,000	833,120	66,880	福祉校32校(小13/中14/高5)
<b>3 各種援護の充実を図る事業</b>		<b>3,020,000</b>	<b>2,255,000</b>	<b>765,000</b>	
(1) 低所得世帯援護	低所得世帯児童の小中学校入学時祝金支給(生計)	1,060,000	780,000	280,000	小中@10,000円×78人
	低所得世帯児童の小中学校入学時被服購入費助成(生計)	1,960,000	1,475,000	485,000	小男女@10,000円×23件=230,000円 中男@20,000円×26件=520,000円 中女@25,000円×29件=725,000円
<b>4 その他福祉施策の充実を図るための活動経費及び助成事業</b>		<b>1,650,000</b>	<b>1,590,000</b>	<b>60,000</b>	
(1) 地域作業所育成	自動車購入費助成	800,000	800,000	0	須賀作業所
	施設改修費助成	700,000	700,000	0	地域作業所サチラス
(2) 点字図書購入費助成	視覚障がい者(1~2級)の点字図書購入に対する助成	150,000	90,000	60,000	限度1人30,000円 9件
<b>5 基金管理委員会が必要と認める事業</b>		<b>1,432,000</b>	<b>885,350</b>	<b>546,650</b>	
(1) 福祉電話料助成	ひとり暮らし高齢者福祉電話料助成	1,232,000	855,350	376,650	親機1台 年度未加入者33人(延39人)
(2) その他の福祉事業	必要に応じ支出する経費	200,000	30,000	170,000	手話サークル七夕会創立30周年の集い
<b>合計</b>		<b>18,011,000</b>	<b>16,067,669</b>	<b>1,943,331</b>	

2. 年末たすけあい配分事業一覧表

平成19年度配分結果

区分	配分内容	件数	金額(円)	
要 援 護 世 帯 等	生計困難世帯に年末慰問金を配布 (1人世帯 5,000円 2人以上世帯 8,000円)	592世帯	4,532,000	
	一般遺児激励金 18歳以下の遺児に激励金(1名10,000円)を配付	児童数123人	1,230,000	
	修学旅行支度費(小学生5,000円 中学生10,000円)	119人(小学生53人/中学生66人)	925,000	
	小 計			6,687,000
地 域 作 業 所 等	地域作業所の事業運営に対して配分 1か所あたり140,000円	26作業所	3,640,000	
	障がい者グループホーム・ケアホームの事業運営等に配分 1か所あたり 90,000円	7か所	630,000	
	障がい児デイサービスありんこくらの事業運営等に配分 1か所あたり 50,000円	1か所	50,000	
	小 計			4,320,000
社 会 福 祉 団 体 等	地区社協活動事業 地区社協に地区ふれあい広場事業費(3世代交流事業) として配分 1地区あたり90,000円	23地区社協	2,070,000	
	要援護者実態把握活動事業 平塚市民生委員児童委員協議会へ事業費として配分	1か所	1,550,000	
	在住外国人共生事業 横内プロジェクトへ事業費として配分	1か所	200,000	
	福祉団体補助金	17団体	1,133,000	
	小 計			4,953,000
	事 務 費			732,487
合 計			16,692,487	